

サッカー競技会等開催時の感染防止策（ガイドライン）について

新型コロナウイルス感染症の拡大も、ひとまず落ち着きを見せ、様々な事業が再開しつつあります。

しかしながら、第2波、第3波の襲来は確実との感染症専門家の意見を踏まえると、活動再開にあたっては、細心の注意が求められています。MFA作成の「活動再開チェックリスト」や「健康チェックカード」を活用し、感染防止に努めていただきたいと思います。

また、この度、当協会では、大会開催に際し、感染防止に向けて以下のガイドラインを作成しました。これは、日本サッカー協会のガイドラインをもとに、本県に適応するように作成したものです。非常に多くのチェック項目があり煩雑ですが、コロナ前とは状況が違ふということをご理解いただき、熟読の上、実行してください。第2波、第3波が襲来し、これ以上長期にわたってサッカーができなくなる事態は、何としても避けなければなりません。

大会の運営に携わる方々、出場する選手、チームスタッフ、審判員の皆様のご協力を、重ねてお願い致します。

令和2年6月15日

（一社）宮城県サッカー協会 会長 大久保 芳雄

新型コロナウイルス感染症対策（大会運営ガイドライン）			
	宮城FA	種別（主管委員会）	参加チーム
責任者	感染対策責任者 ・櫻井、竹鼻	感染対策責任者 ・大会全体（総括責任者） ・各会場に1名	感染対策責任者 ・エントリー時1名
	大会における感染対策コントロールは、この3者の連携により行う		
事前	FA用 感染防止対策 ・ガイドライン作成 ・チェックリスト作成 ○大会要項チェック ○感染対策備品の準備	○大会要項作成（感染対策関係） ○チーム、大会関係者への連絡	○感染対策をチーム内に周知 ○健康チェックカードの管理
当日	大会継続の有無 大会形式の変更 関係機関への報告	○感染対策に基づいた大会運営 判断・実施	○チーム内感染対策の実施 ○選手、スタッフの健康チェック ○参加者リストの提出 チーム内に感染者 第2波感染拡大
事後			チーム内に感染者 参加者リストの保管 健康チェックカードの保管

1 事前の対応

FA 事務局、主管委員会、参加チームは、それぞれに「感染対策責任者」を設置し、事前、当日、事後において、3 者が連携をとって感染防止策をコントロールする。

(1) 参加者に対して

主管委員会の「感染対策責任者」は、参加予定チームの「感染対策責任者」、審判、運営スタッフ、メディア等に、以下の項目を事前に伝達すること。

- ① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。
 - 体調が優れない（例：発熱、咳、咽喉痛等の症状）。
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ② 参加者全員がマスクを着用する。
- ③ 参加者全員の「参加者リスト」（別資料）を提出する。
- ④ 競技会に参加する上で宮城 FA が示す注意事項を遵守する。

(2) 監督会議/代表者会議

監督会議/代表者会議は、事前にオンラインで開催する。参加チームへの連絡事項・注意事項等をメールで展開する。当日に紙で配布するなど、3 密を避けること。

ユニフォームについても、可能な限り事前に決定して、参加チームに伝達すること。

2 競技会場における感染防止対策

(1) 諸室

- ① 各部屋にアルコール消毒液を設置する。
- ② ドアや窓を開放する。ドアノブは定期的に消毒する。
- ③ 座席を設置する場合は、前後左右 1.5～2.0m 間隔を空ける。

(2) 手洗い場所、トイレ

- ① ドアノブ、トイレのレバーなど、こまめに消毒する。
- ② ポンプ式液体石鹸または泡石鹸を用意する。

(3) ロッカールーム

- ① スペースにゆとりがない場合は、一度に入室する利用者の数を制限する。
- ② アルコール消毒液を設置する。
- ③ ドアノブやロッカーの取手、テーブル、椅子等をこまめに消毒する。
- ④ 換気扇を常に回し、ドアや窓を開けて常時換気する。
- ⑤ チームの注意事項
 - ・選手及びスタッフはマスクを着用する。
 - ・会話を最小限に留める。

(4) 審判控室

- ① スペースにゆとりがない場合は、別室や外部にテントを設置する等の措置を講じる。
- ② アルコール消毒液を設置する。
- ③ ドアノブやロッカーの取手、テーブル、椅子等をこまめに消毒する。
- ④ 換気扇を常に回し、ドアや窓を開けて常時換気する。
- ⑤ 審判員の注意事項
 - ・ 審判員はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
 - ・ 審判員同士のミーティングは、会場で3密にならないスペース等を探して実施する。

(5) ベンチ

- ① 間隔を空けて座れるよう、できるだけベンチの数を増やす。
- ② 同会場で複数試合を行う際は、試合ごとに消毒を行う。

(6) 来場者対応

以下の項目の実行が難しいと判断された場合は、原則として無観客試合とする。

① 事前通達

協会ホームページに掲載する大会情報に、以下の留意事項を明記し、周知を徹底する。

- ・ 体調の悪い方は来場を控える。
- ・ 来場する際はマスクを着用する。
- ・ 大声での声援や大旗を使つての応援は行わない。
- ・ 場内では2mの間隔を保ち、ハイタッチ、ハグ、肩組み行為は行わない。

② 当日対応

- ・ 入場口、受付、トイレ等にアルコール消毒液を設置する。
- ・ 入場口で体温チェックを行う。もしくは、入場口で、体調の悪い人への感染自粛を促すアナウンスを行う。
- ・ 飲食売店の運営は、安全対策に十分配慮した上で判断する。ドブ漬けを使用したドリンクの販売はしない。また、アルコール類の販売も当面は行わない。
- ・ 喫煙所は設けない。
- ・ 場内アナウンス、電光掲示板等で、① 事前通達 の留意事項のアナウンスを随時行い、守らない方には直接注意する。改善されない場合は退場してもらう措置も講じる。

(7) マッチコーディネーションミーティング (MCM) におけるチームへの伝達事項

MCM はできるだけ実施せず、参加チームにマッチコミッショナーを紹介する程度に留める。参加チームに伝達すべき事項に関しては、事前に参加チームに伝えておく。

また、以下の感染防止対策に関する項目を参加チームに伝えること (MFA 作成済み)。

- ・ 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・ 両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- ・ エスコートキッズは実施しない。
- ・ 円陣を組まない。
- ・ 倒れた選手に手を貸したりしない。
- ・ 得点時にハイタッチ、ハグを行わない。

- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。
- ・口に含んだ水を吐かない。
- ・ボトルを共有しない。
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・タオルを共有しない。
- ・ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際は、距離をおく。
- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控える。

(8) メディア対応における注意事項

① 事前準備

以下の対応のために、競技会・試合の取材申請を事前に締め切る。

- ・試合会場の設備に合わせて、3密を避ける取材者の適正人数を調整する。
- ・取材者に、以下の内容を事前に伝えておく。
 - (a) 以下の事項に該当する場合は自主的に来場を見合わせてください。
 - 体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状）
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - (b) マスクを常時着用してください。
 - (c) 「健康チェックシート」(MFA 作成) に記入し、入場時に提出してください。
 - (d) その他、主管 FA が示す注意事項 (MFA 作成) を遵守してください。

② 試合会場のメディア設営

競技者とメディアとの不要な接触避けるためのメディア動線を作成し、以下に留意して設営を行う。

- ・記者室や記者席、記者会見場では、各記者が前後左右 1.5m～2.0m 間隔で座席を配置する。
- ・記者室等の入口にアルコール消毒液を設置するとともに、ドア及び窓を開放する。
- ・3密を回避する記者室を設置できない場合は、メディアに対して事前に周知しておく。
- ・3密を回避する記者会見場を設置できない場合は、ミックスゾーンを設置しメディア対応をする。

③ 当日のメディア運営

受付時に「健康チェックリスト」の提出と検温をお願いするとともに、以下の注意事項 (MFA 作成) を配布する。

- ・常時マスクを着用し、不必要な会話を控えてください。
- ・代表質問を行うなど、取材者の皆様の人数が必要最小限となりますようご協力ください。
- ・選手との距離は 2m 以上取り、取材者同士も最低 1m 間隔を保ってください。
- ・できるだけ短い時間で取材を終えることができますようご協力ください。

(9) ゴミの廃棄方法

ゴミを収集する際は、マスク、手袋を着用すること。また、マスク、手袋を脱いだ後は手指消毒をすること。

3 事後対応

感染者が発生した場合に備え、各チームは競技会当日の参加者全員の「健康チェックカード」を、主管委員会の感染対策責任者は、両チームの「参加者リスト」及び当日来場した関係者の「健康チェックシート」を最低1ヶ月保存すること。競技会期間中又は競技会終了後14日以内に万が一感染者が発生した場合、以下の対応を行うこととする。

- ・各チーム内で感染者が発生した場合は、当該チームの対策責任者は、即座に主管委員会及び宮城FAの感染対策責任者に報告する。
- ・運営スタッフ等、競技会関係者に感染者が発生した場合は、主管委員会の対策責任者は、即座に宮城FAの感染対策責任者に報告する。
- ・感染発生 の 報告を受け、大会の継続、変更、中止の決定及び感染発生に伴う様々な対応については、宮城FA及び主管委員会、チームそれぞれの感染対策責任者間の連携によって進めるものとする。
- ・保健所や関係機関、JFAへの報告、連絡等については、宮城FAの感染対策責任者が行うものとする。

4 各種チェックリスト等の一覧

(1) 大会時のチェックリスト

- ・チーム用（各チーム）
- ・大会運営用（主管委員会）
- ・審判員、審判指導者用

(2) 参加者リスト

- ・選手用

通常のメンバー表に、「体温（数字で記入）」「健康（異状がなければ○を記入）」

- ・チーム関係者用（チームスタッフ、登録外の選手、家族等）

参加者リストに「氏名」「体温（数字で記入）」「健康（異状がなければ○を記入）」

※ 「健康」は、「健康チェックシート」のチェック項目に準じる

(3) 健康チェックシート

- ・審判、運営スタッフ等の大会関係者、メディア用

受付時に、記入（メディアは事前配布）の上、大会本部に提出